

平成 30 年度 事業シート

第6次廿日市市総合計画（前期基本計画）

方 向 性	4 新たな可能性に挑む
重 点 施 策	2 市民が主役！チャレンジを応援する
施 策 方 針	2 新たなビジネスを創出する起業・創業の支援

担当課名	環境産業部 産業振興課
予 算	01 一般会計
科 目	06 商工費
目 目	01 商工費
目 目	01 商工総務費

事業名	産業振興ビジョン推進事業	事業開始年度	平成 28 年度
		根拠法令 条例 個別計画 等	廿日市市産業振興基本条例 廿日市市産業振興ビジョン

1 事業の目的、意図

目 的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	- 事業者 - 市民	事業者、産業経済団体、国・県の産業支援機関、金融機関、大学、NPO等のまちづくり活動団体、市民及び市の多様な主体の総働により、産業施策を一体的、相乗的に推進することにより、事業者の活力が最大限に発揮され、地域経済が持続的に発展している。

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	市役所(職員)の役割	関係団体(パートナー)	関係団体(パートナー)の役割
市	産業振興ビジョンを着実に執行するためのコーディネート	産業経済団体、産業支援機関、金融機関、大学、NPO等まちづくり活動団体、市民	- 産業振興審議会への参画 - 産業支援プラットフォームへの参画 - ビジョンと連動した事業実施

3 平成 30 年度 予算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

事業内容・目的

産業振興ビジョンに掲げられた各種施策を政策連携により着実に推進するため、庁内職員ワーキングの主宰、産業支援プラットフォームへの職員参加を行うとともに、産業共創会議を開催し、案件づくりへとつなげる。ビジョンの実施状況及び評価について、産業振興審議会において調査審議する。

事業費

【歳出】

産業振興審議会委員報酬外

258 千円

廿日市市産業振興ビジョン推進支援業務委託料

4,000 千円

計 4,258 千円

活動内容

コスト情報（円）

項 目		平成 28 年度決算	平成 29 年度予算	平成 30 年度予算	
財源内訳	直接事業費 A	14,714,382	4,786,000	4,258,000	
	国庫支出金	13,263,254			
	県支出金				
	借入金（市債）				
	その他(使用料など)				
	市（市税など）	1,451,128	4,786,000	4,258,000	
人件費（按分）B		0.50 人 4,200,500	0.50 人 4,294,000	0.50 人 4,273,000	
総事業費（A+B）		18,914,882	9,080,000	8,531,000	
単位 ト換算 コス	① 人口（4月1日現在）	116,947 人	116,947 人	117,157 人	
	市民1人当たり	162	78	73	
	②				

到達目標

活動及び成果指標		単位	H28 実績値	H29 目標値	H30 目標値	H32 目標値	備考
活動 成果	産業振興審議会の開催回数	回	2	2	2	2	
	産業共創会議の開催回数	回	1	1	10	10	
	産業振興ビジョンの着実な推進		—	—	—	—	